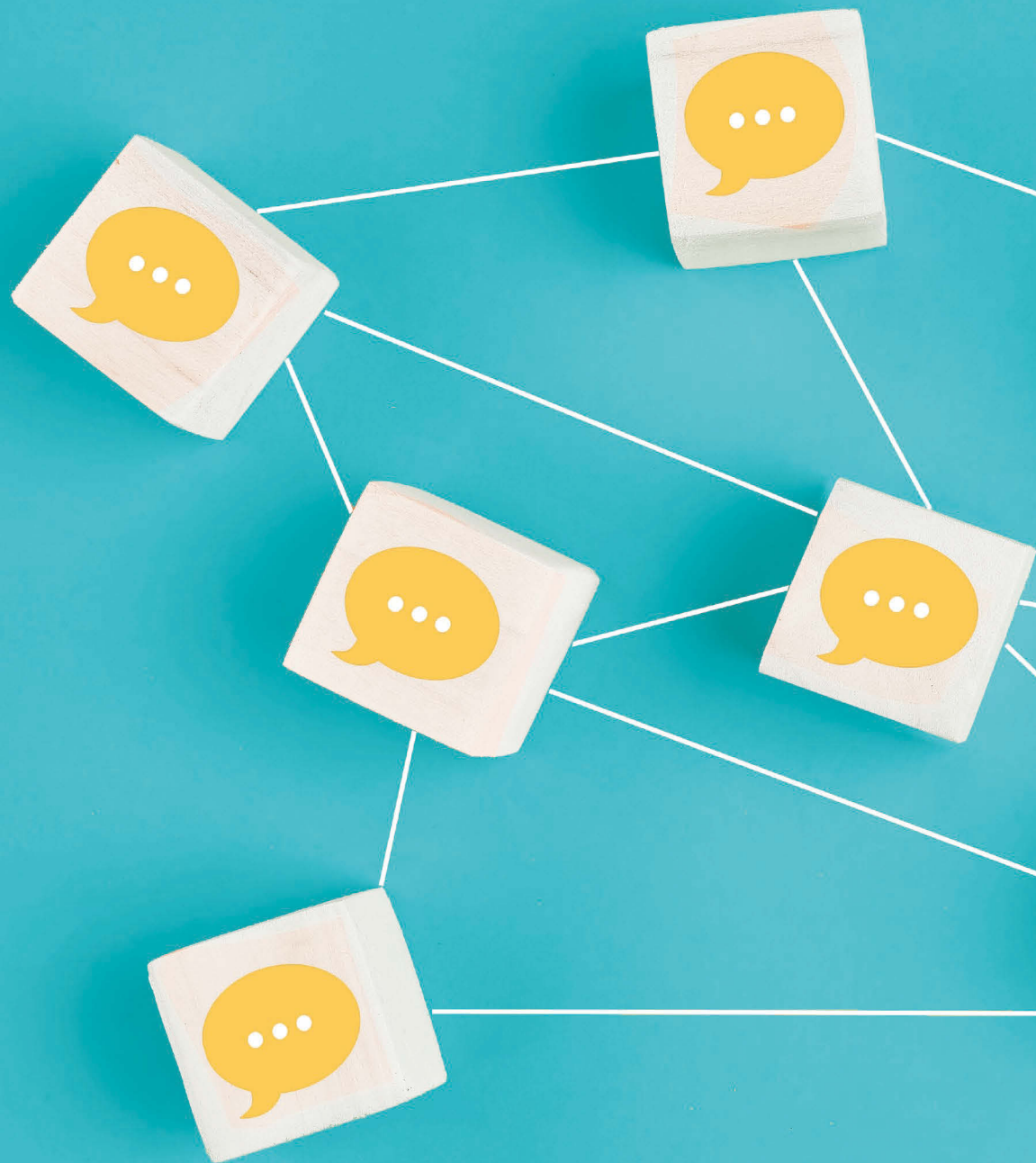
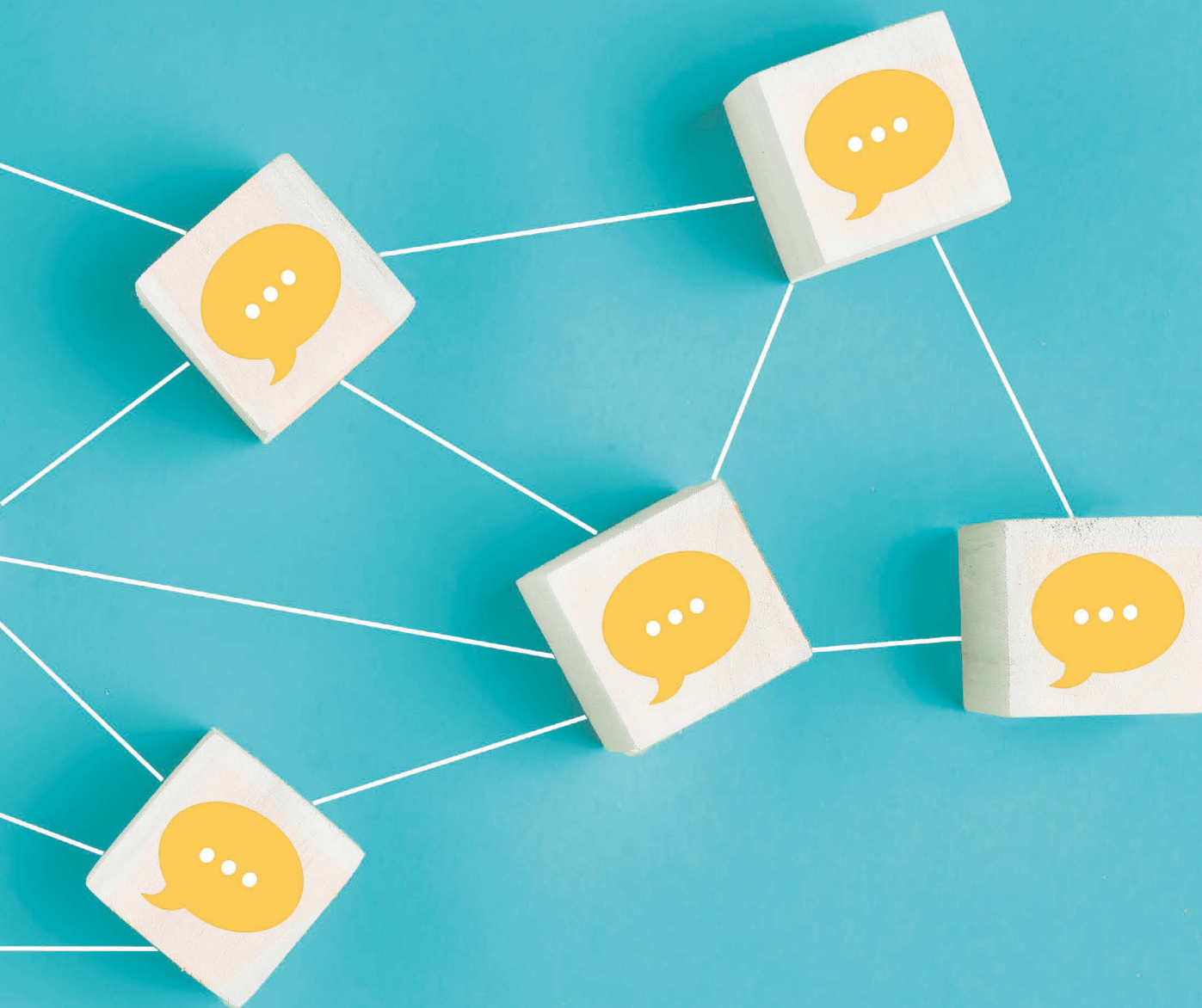




特集

対話と信頼

課題を共有し、変化に強い組織をつくる



2020 年初めから新型コロナウイルス感染症への対応が迫られた病院看護部には、さまざまな分断が生じました。そのような中、変化に強い組織づくりやスタッフ間の信頼関係の回復のため、対話や情報共有、コミュニケーションの重要性が再認識されています。2021 年の日本看護管理学会学術集会では、対話や情報共有、コミュニケーションの重要性を示唆する演題が例年より多く見受けられました。

そこで本特集では、コロナ禍において、あるいは平時から、対話やコミュニケーションを重視したマネジメントを行っている組織に実践を報告していただき、組織課題を解決するための対話の重要性について考察します。